

1 調査名称：都市交通対策の検討

2 調査主体：神戸市

3 調査圏域：神戸市

4 調査期間：平成 28 年度

5 調査概要：

神戸の都心を活性化し、都市間競争に勝ち残り、また、日本や関西に貢献できる都市となるために、新神戸から、三宮・元町を経て神戸・ハーバーランドまでの範囲を対象として、『将来ビジョン』および三宮駅周辺において、魅力的で風格ある都市空間を実現すべく、三宮周辺地区の『再整備基本構想』を策定した。

それには、神戸市総合交通計画等をふまえて検討していくことが必要であるが、総合交通計画の中で当該エリアについては、「人」が中心の交通環境を目指すこととしている。

「人」が中心の交通環境の実現のためには、さらなる歩行者の回遊を創出する必要があるが、主要な駅から周辺の観光地や商業地等へのはきだし機能やまちなかウォーターフロントを結ぶ歩行者動線が弱いこと、まちなかでの滞留スペースの不足、3層ネットワークの未整備等、様々な課題がある。

課題の解消のため、まずは、重要な交通結節点である三宮駅、元町駅において、今後の都市計画変更を視野にいれ、駅からののはきだし機能の強化や歩行者動線の拡充など、交通結節機能の改善に資する検討を行う。

## I 調査概要

### 1 調査名称

三宮東地区におけるまちの将来像の検討及び整備計画作成業務

### 2 報告書目次

1. 業務概要
2. 将来像の検討及び整備計画策定の条件整理
  - (1) 上位・関連計画の整理
  - (2) 上位・関連計画による計画条件の整理
  - (3) 地区の現況整理
  - (4) 課題の整理
3. まちの将来像の検討
  - (1) 三宮駅新東口駅前広場の役割分担整理
  - (2) 必要規模の検討
  - (3) 駅前広場平面計画
  - (4) 駅前広場計画案の比較評価
  - (5) 関連都市基盤施設の検討
  - (6) 将来構想図の作成
4. 整備計画の作成
  - (1) 公共施設整備計画の策定
  - (2) 概算事業費の算定
  - (3) 事業スケジュールについて
5. 整備手法の検討
  - (1) 整備手法の検討
  - (2) 再開発事業の概略可能性検証
  - (3) 再開発事業実施における留意事項
6. まとめと今後の課題
  - (1) 検討のまとめ
  - (2) 今後の課題

## II 調査成果

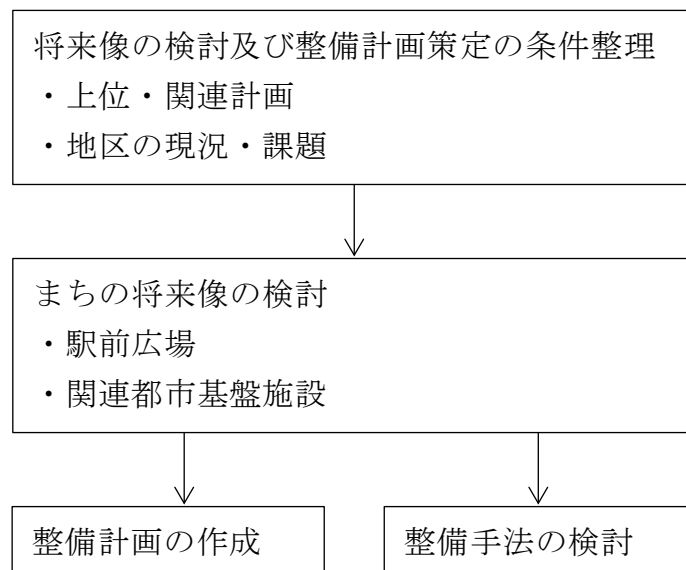
### 1 調査目的

神戸市の玄関口である三宮駅周辺地区では、27年9月に策定された、「神戸の都心の未来の姿【将来ビジョン】」、「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」に基づき、「人と公共交通優先の空間 三宮クロススクエア」を基本方針に、三宮駅を中心として交通結節施設等の再整備方針が打ち出されている。

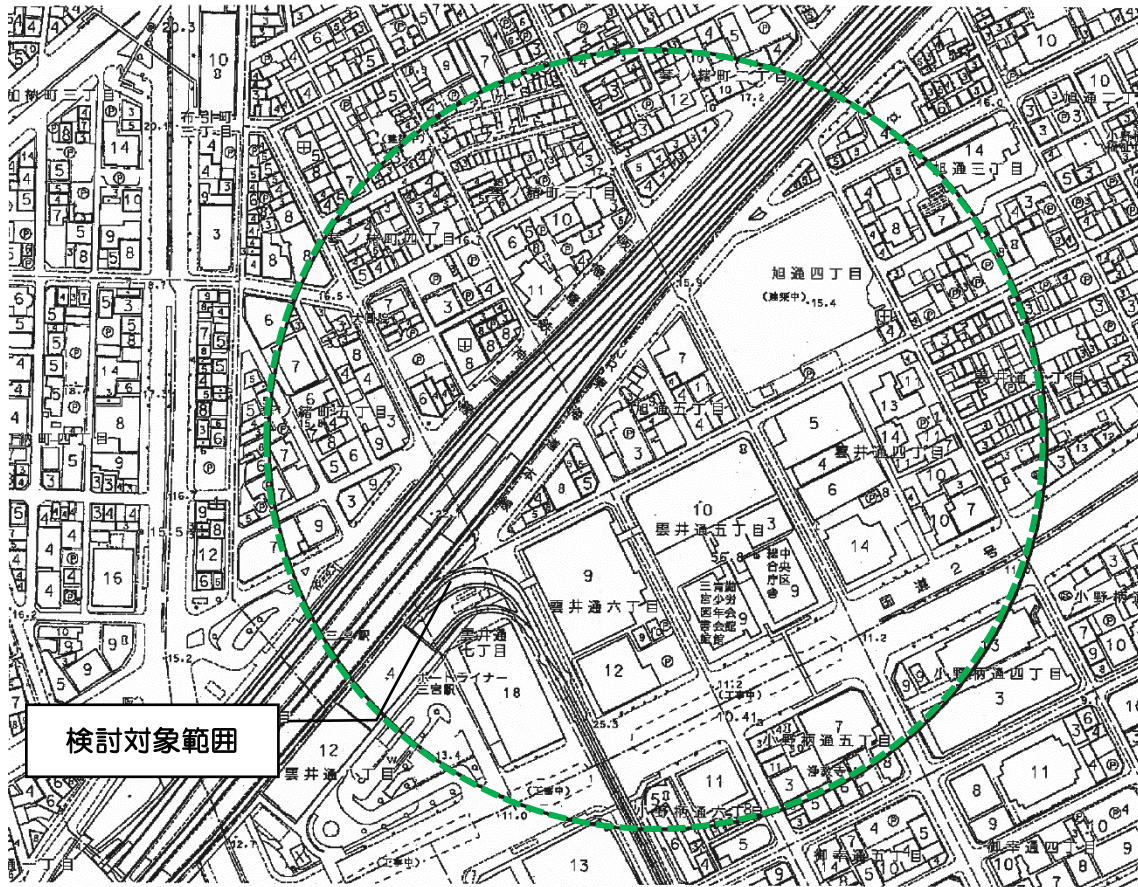
本業務の対象地区である三宮東地区においては、中・長距離バスの集約を図るバスターミナルに隣接して、新東口の検討、駅前広場の拡充が位置付けられている。

本業務では、新バスターミナル、JR三宮駅新東口、えきまち空間といった公共施設や周辺街区のありかたについて、まちの将来像を複数案検討し、駅前広場、道路整備といった公共施設の整備計画を立案するものとする。

### 2 調査フロー



### 3 調査圏域図



#### 4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。

## I 調査概要

### 1 調査名称

平成28年度 都心・ウォーターフロント間のアクセス向上検討業務

### 2 報告書目次

#### 第1章 業務概要

1-1 業務の目的

1-2 業務概要

1-3 業務項目

1-4 業務位置図

#### 第2章 諸条件の整理

2-1 資料収集・整理

2-2 現地状況の把握

2-3 設計条件の整理

#### 第3章 弁天町交差点における検討

3-1 検討の流れ

3-2 現況と問題点の把握

3-3 課題の整理

3-4 西側横断歩道設置の可能性検討

3-5 新設デッキ設置の可能性検討

3-6 自転車走行空間設置の可能性検討

3-7 比較検討表の作成

#### 第4章 メリケン波止場前交差点における検討

4-1 検討の流れ

4-2 現況と問題点の把握

4-3 課題の整理

4-4 交差点平面化案の検

4-5 既設デッキの改善案の検討

#### 第5章 関係機関協議資料の作成

5-1 関係機関協議資料の作成

#### 第6章 申し送り事項

6-1 弁天町交差点での申し送り事項

6-2 メリケン波止場前交差点での申し送り事項

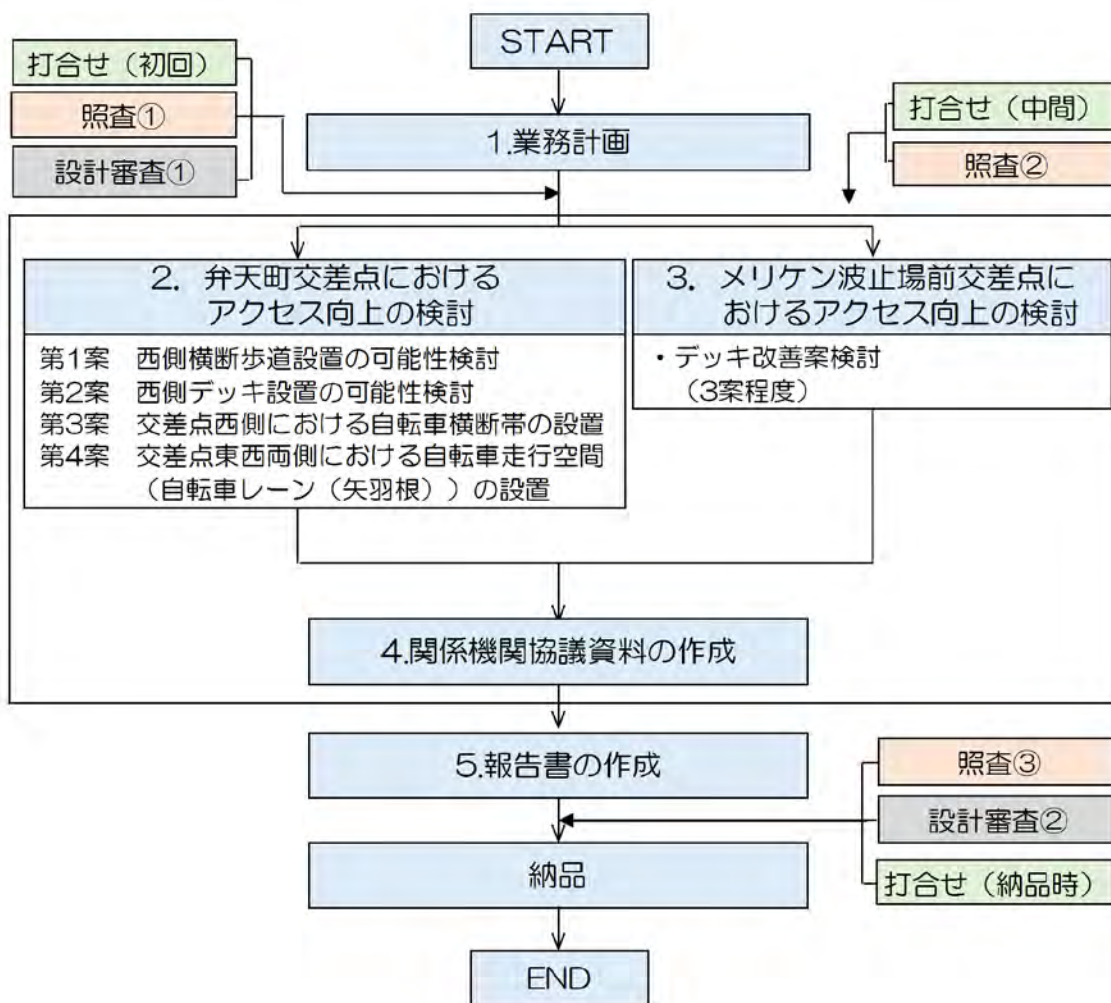
## II 調査成果

### 1 調査目的

将来ビジョンの実現の一環として、都心とウォーターフロント間のアクセス性を向上させるため、国道2号横断部の改良を行う。

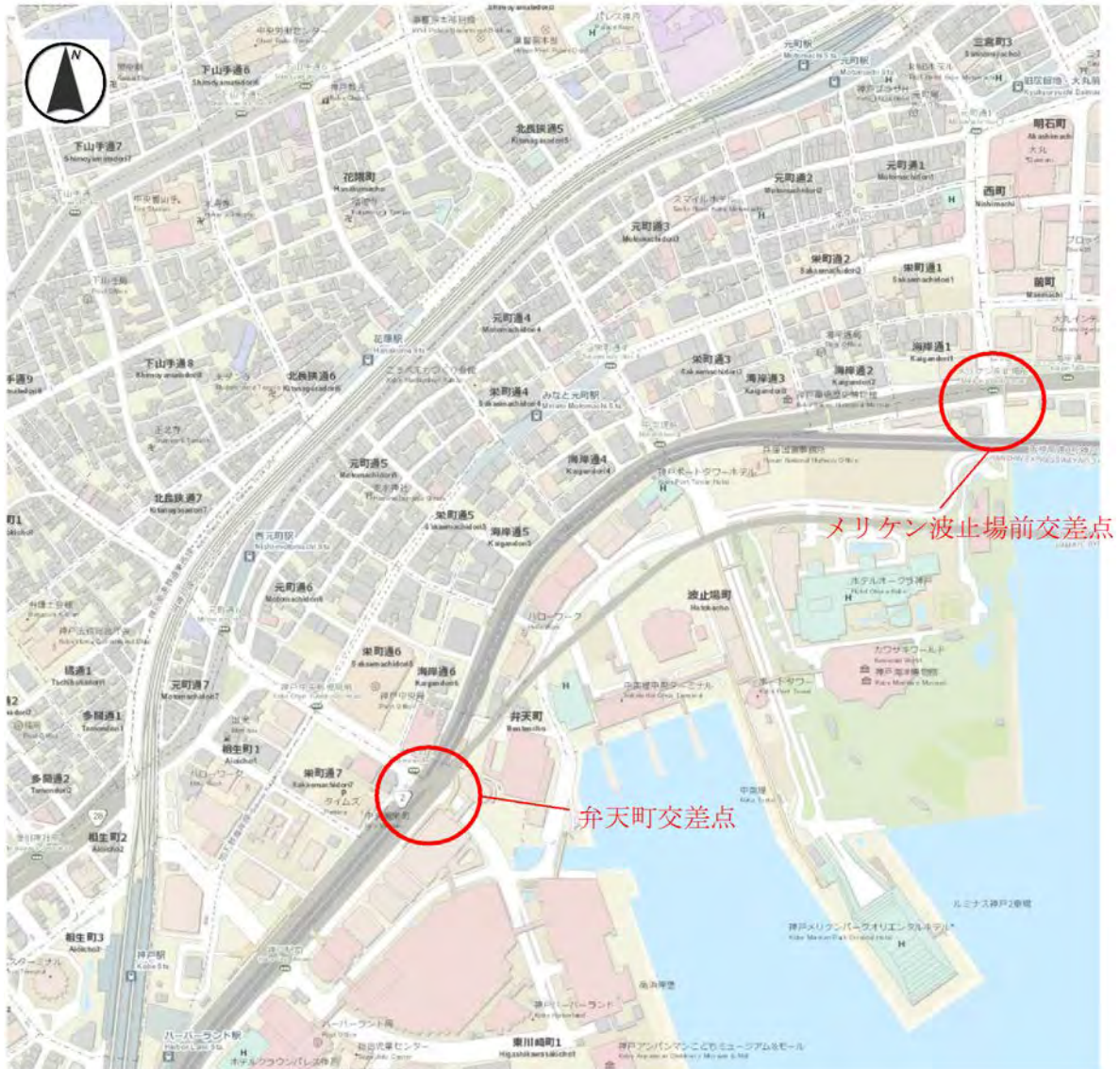
都心とウォーターフロント間を分断している国道2号横断部について、歩行者のアクセス性を向上させることを目的に、弁天町交差点、及びメリケン波止場前交差点において、横断歩道設置を含み、改良方法を検討した。

### 2 調査フロー





### 3 調査圏域図





#### 4 調査成果

本調査成果は、本市内部における検討に関する情報であって、公にすることにより市民の間に著しい混乱を生じさせ、又は特定の者に不当に利益を与え若しくは不利益を及ぼすと認められるため、非公開とする。